

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課												
	作成責任者	小野木 正章												
	事業名	姉妹都市交流促進事業												
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	諸費	会計	一般会計	事業コード	130112	決算付属資料	94	頁
	施策体系	施策コード	020702	施策名	多様な文化交流を推進する									
	開始年度	昭和58年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	行政間だけの交流にとどまることなく、市民ぐるみで人・物の交流を促進し、島原市との友好の絆を深める											
	対象者	市民ほか	対象者数	-	単位あたりコスト								
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
	委託先・実施主体等												
	事業概要	福知山マラソン会場において「島原物産展」を開催 「提携記念日行事(巡回パネル展等)」の実施 スイーツフェスティバル等イベントでの島原物産展の開催											
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費									
	需用費	マラソン会場「島原物産展」具雑煮提供の材料費他	95										
	使用料及び賃借料	具雑煮調理ガスコンロ使用料	6										
関連事業	姉妹都市友好親善市民交流事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	258	258	183	199	197
	②補正予算	0	△ 62	0		
	③流充用額			0		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越						
予算と執行の状況	一般財源	258	196	183	199	197
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.28/0	0.28 / 0	0.16 / 0	0.16 / 0		
⑤概算人件費	2,240	2,240	1,280	1,280		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,498	2,436	1,463	1,479		
⑦執行額	107	150	101			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	41.5%	76.5%	55.2%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		物産展来場者	人	3000 / 3000	2000 / 3000	3000 / 3000	/	3000
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	物産展等の開催	回	5 / 5	3 / 5	3 / 5	/	3	3
	単位あたりコスト		21.4	50.0	33.7			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	姉妹都市締結に基づき相互の理解や友好を深めながら実施・継続してきた事業である。今後もこの絆を守り継続していく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率よく有効に事業が実施できるよう、島原市からの協力を得ている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	継続して実施していることから、物産展等で販売する島原市の特産品は好評である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		物産展での販売状況から交流事業も定着しているように思われる。さらに人や物を介して友好交流を内外に発信する機会を考える必要がある。	
今後の課題及び方向性		島原市との姉妹都市提携は、当時の市民の熱い思いのもと結ばれたものであり、現在も市内各種団体による相互交流が続けられている。一部の限られた人々の交流に留まることのないよう、市民に姉妹都市島原市への愛着と友好の思いを持ってもらえるような事業展開をすることが課題である。現在、物産展やパネル展等を実施しているが、市民ぐるみの友好交流を進めていくために、行政が果たす役割を考えなければならない。事業の中で、姉妹都市島原市に興味と愛着を持っていただくための見せ方、「PR」方法に工夫を凝らしていきたい。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課									
	作成責任者	小野木 正章									
	事業名	姉妹都市友好親善市民交流事業									
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 諸費	会計 一般会計	事業コード 130113	決算付属資料 94	頁			
	施策体系	施策コード 020702	施策名 多様な文化交流を推進する								
	開始年度	平成30年度									
	終了予定年度	平成30年度									
	関連計画等	-									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	姉妹都市・島原市との継続的な交流を促進し、両市の友好の絆を深める。										
	対象者	市民	対象者数	77,743	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	姉妹都市提携5周年ごとに相互を訪問し交流を深めている。 平成30年度は、姉妹都市提携35周年を記念し、福知山市から応募等による市民訪問団が島原市を訪問した。島原市では歓迎セレモニー、市民交流会が催され、両市民の交流を図るとともに「雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼之碑」及び「雲仙岳災害記念館」等を訪れ、島原市の歴史、風土に触れながらまちの魅力を体感した。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費		
		旅費	職員旅費							310		
需用費		交流会参加島原市民手土産、「青い目の人形」衣装							257			
役務費		目録筆耕、「青い目の人形」フェリー運搬							47			
使用料		「青い目の人形」運搬高速道路使用料							14			
負担金補助	参加者助成							280				
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	配当予算	①当初			794						
		②補正予算									
		③流充用額			329						
		④繰越額計			0		0				
		前年度繰越									
		次年度繰越									
	財源内訳 (①④内訳)	一般財源			1,123		0				
		国支出金									
		府支出金									
		地方債									
		その他特財									
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁				
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁				
	人件費	従事職員数 (正職・嘱託)		/	0.25 / 0	/					
⑤概算人件費				2,000							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)				3,123	0						
⑦執行額				908							
執行率 (⑦/⑥×100)				80.9%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数	人			56/80	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		周知件数	回			10/5	/	
		単位あたりコスト				90.8		
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	姉妹都市提携に基づく交流事業である。 継続して実施していることから、交流を通じて育まれてきた絆は、これからも引き続き継いでいかなければならない。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率的な事業実施に向け、島原市との連携を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	両市に残る青い目の人形を活用し、新たな友好親善交流を図ることができた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	姉妹都市提携35周年を祝うシンボルとして本市に残る青い目の人形を特別友好親善大使に任命し、島原市へ同行させるなど、新たな友好親善交流の情報発信につとめた。市民が姉妹都市への関心や興味をもつ交流を島原市と連携を図りながら取り組んでいかなければならない。	
	今後の課題及び方向性	幅広い世代から参加が得られるよう事業周知に工夫をこらしていかなければならない。 補助金の有無が市民の参加決定に影響を与えるほどの効果は少ないことから補助金の支給を廃止する検討も視野に入れる必要がある。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	<p>○目的を精査していく必要があるのでは。毎回行くことが目的になってしまうと先細りになってしまうのではないと思う。市が考える「友好の絆を深める」形はどのようなものなのか、改めて考えていく必要があると考える</p> <p>○日頃からの交流が必要なのでは？</p> <p>○島原市との姉妹都市交流は35年の歴史があり、今後も両市の友好の絆は大切にしていかなければならないと思う。そのためには、交流に関わる主体・分野の裾野を拡げ、相互理解・信頼関係を深める日常の取り組みが必要であると思われます。近年交流事業が固定的になっているように思われますので、今後交流事業に新しいことを追加する必要があるのではないかと思います？</p> <p>○平素の情報交換や紹介といった活動で、友好の感覚を培っておかないと厳しい</p>

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	棚卸しの意見を踏まえ、次回事業の検証を行う。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】